広報メディア研究所代表　上野弘子の

Pick Up Cinema

Vol.65

大戦前の満州で考案された幻のレシピ その謎を追ううちに見えて来た愛と陰謀

「ラストレシピ～麒麟の舌の記憶～」

(C)2017 映画「ラストレシピ～麒麟の舌の記憶～」製作委員会
© 2014 田中経一／幻冬舎

監督：滝田洋二郎
原作：田中経一「ラストレシピ ～麒麟の舌の記憶～」（幻冬舎文庫）
出演：二宮和也、西島秀俊、綾野 剛、宮﨑あおい、竹野内 豊　ほか

OSシネマズミント神戸、OSシネマズ神戸ハーバーランドほかで
11月3日（金・祝）公開

国家や世界までも陰で動かすロビイスト 彼女が銃社会に仕掛けた最後の一手とは…

「女神の見えざる手」

© 2016 EUROPACORP – FRANCE 2 CINEMA

監督：ジョン・マッデン
出演：ジェシカ・チャステイン、マーク・ストロング、ググ・バサ=ロー、ジョン・リスゴー　ほか

シネ・リーブル神戸ほかで11月18日（土）公開

「ラストレシピ～麒麟の舌の記憶～」

一度食べた料理の味を完全に再現できる、絶対味覚「麒麟の舌」をもつ佐々木充（二宮和也）。他人に心を開くことなく料理の道に生きて来たが、店の経営に失敗し、情熱も失いかけていた。そんな彼に中国料理界の重鎮から電話が入る。用件は、70年前の満州国で、天皇のために天才料理人・山形直太朗（西島秀俊）が考案した112品のレシピの再現だった。

佐々木は、消失したというレシピを求め、山形の知人を訪ね歩く。そして、当時の話を聞くうちに、完成したレシピが発表されることもなく時代の闇に消えた理由を知る。そして、同時に、壮大な愛のメッセージにも気づくことに…。

現代と70年前という二つの時代を背景に、満漢全席をも超える豪華な料理とそれに関わった人々。その生き方や想いを探るうちに、思いがけないラストへと導かれていく心地よいミステリーだ。豪華なキャスト陣の渾身の演技にも注目。

（配給：東宝　126分）

「女神の見えざる手」

真っ赤なルージュに洗練された衣装。颯爽と歩くエリザベス・スローン（ジェシカ・チャステイン）は、したたかで巧妙な戦略で知られるロビイストの女神だ。

ある日、彼女は銃擁護派団体から仕事を依頼される。仕事とは言え、信念に反することはできない。依頼を断った彼女は、部下とともに別会社へと移籍する。そこは、銃規制法案に賛成する立場の陣営を支援する、小さなロビー会社だった。

エリザベスの手腕で、銃規制派は形成を有利に変えていく。仕事のためならどんなことでも利用するエリザベス。プライベートも恋をする時間も割いて。しかし、その結果、彼女の部下が命の危険にさらされ、自身のスキャンダルも暴かれることになる。そして、聴聞会に呼び出された彼女が、最後に打つ一手とは。予測のつかない展開が待ち受けるサスペンス・ムービー。

※ロビイストとは、政党や議員に働きかけ、政治に影響を与え、マスコミや世論をも動かす「戦略の天才」を言う。

（配給：キノフィルムズ　132分）

上野弘子　広報メディア研究所代表　有限会社インターメディア代表取締役　　神戸市生まれ　サンケイリビング新聞社編集長を経て現職。
広報ツールの企画・制作　行政広報講師　行政審議委員　エッセイの執筆など幅広く活動。　公式 HP http://hiroko.littlestar.jp/